

今後の法曹人口についてのシミュレーション

(単位:人)

	仮定 平成25年以降司法試験 年間1,000人合格			43年前 修習終了者	国民人口推計
	新規法曹 資格者 (前年の司法試験合格者数)	法曹三者 総人口	法曹1人当た りの人口		
平成24年 (2012)	2,069	36,824	3,462	516	127,498,000
平成25年 (2013)	2,102	38,414	3,313	512	127,247,000
平成26年 (2014)	1,000	38,908	3,263	506	126,949,000
平成27年 (2015)	1,000	39,413	3,212	495	126,597,000
平成28年 (2016)	1,000	39,920	3,161	493	126,193,000
平成29年 (2017)	1,000	40,414	3,111	506	125,739,000
平成30年 (2018)	1,000	40,871	3,064	543	125,236,000
平成31年 (2019)	1,000	41,334	3,017	537	124,689,000
平成32年 (2020)	1,000	41,850	2,965	484	124,100,000
平成33年 (2021)	1,000	42,387	2,913	463	123,474,000
平成34年 (2022)	1,000	42,922	2,861	465	122,813,000
平成35年 (2023)	1,000	43,468	2,809	454	122,122,000
平成36年 (2024)	1,000	43,984	2,760	484	121,403,000
平成37年 (2025)	1,000	44,485	2,712	499	120,659,000
平成38年 (2026)	1,000	45,002	2,664	483	119,891,000
平成39年 (2027)	1,000	45,566	2,614	436	119,102,000
平成40年 (2028)	1,000	46,119	2,565	447	118,293,000
平成45年 (2033)	1,000	48,780	2,336	489	113,970,000
平成50年 (2038)	1,000	51,033	2,141	633	109,250,000
平成55年 (2043)	1,000	51,629	2,019	1,530	104,253,000
平成59年 (2047)	1,000	51,483	1,945	1,178	100,158,000
平成60年 (2048)	1,000	51,296	1,933	1,187	99,131,000
平成65年 (2053)	1,000	45,613	2,061	2,144	93,993,000
平成70年 (2058)	1,000	42,290	2,100	H27新規法曹有資格者	88,826,000

(注)

1 法曹三者総人口＝前年の法曹三者総人口＋新規法曹資格者－43年前修習終了者の計算式により算出。

ただし、平成24年は、同年度の裁判官の定員(簡易裁判所判事を除く。)及び検察官の定員(副検事を除く。)並びに同年4月1日現在の弁護士数(正会員数)を加えた数字。

2 法曹資格取得者は、実働期間を43年間として、43年後に法曹でなくなると仮定。

3 国民人口推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 出生中位(死亡中位)推計」(平成24年1月推計)によるもの。